

## 2019 年度第 3 回執行理事会議事録

期日：2019 年 9 月 2 日（木）13:00～17:00

場所：学会事務局

出席者：松田会長，平田副会長，佐々木副会長，斎藤常務，辻森，西，大藤，小宮，岡田，坂口，中澤，磯崎

欠席者（委任状提出あり，カッコ内は委任者）：田村，安藤（松田），廣木，ウォリス，星，緒方

欠席者（委任状なし）：

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 12 名，委任状 6 名，合計 18 名の出席

\*7 月議事録の確認

### I 審議事項

#### 1) 9/22 理事会の議案

- ・報告（選挙関係，各賞規則の問題提起など）
- ・標準層序に関するシンポジウム
- ・事務局運営体制の規則
- ・委員の承認（地質技術者教育委員会，選挙管理委員会）

#### 2) 標準層序に関連するシンポジウムについて（松田会長）

日程：11 月 23 日（土），場所：産総研中央講堂，CPD 対象，入場無料，事前登録なし  
シンポジウム趣旨とプログラム内容が提案され，微修正のうえ了承された．納谷行事委員がシンポジウムを担当する．プレスリリースおよびポスターは広報（坂口）が担当する．

#### 3) 事務局の運営体制について（緒方理事、佐々木）：事務局運営規則，事務局旅費規程の制定佐々木副会長から事務局運営体制について事務員に対してヒアリング調査を行った．事務局の運営実態に即した形で運営規則および旅費規則を理事会に新規提案していく方針が了承された．

#### 4) 地質学者に答えてもらおうの今後について（坂口）未回答の質問については不適切な質問を除き，広報（坂口，小宮）および執行理事を中心に回答を作成する．今後は理事を中心に回答者リストを作成して割り振る．生涯教育委員会も協力して進める．

#### 5) Island Arc

- ・日本地質学会として Island Arc の重要性が再確認された．
- ・日本語要旨が論文受理の遅れを招くと問題提起があった．日本語要旨の提出を論文受理要件から切り離して早期受理を進め，ダウンロード促進策として著者による英文の 3 行ハイライトの和訳をニュース誌掲載してもらうことを Island Arc 編集委員会で検討してもらう．

- ・ Open Access 出版費用をサポートできるような科研費の申請が提案された。Open Access 化にかかわる Wiley 社との契約条項を確認する。
- 6) 各賞関連の規則について：(齋藤常務)  
来年（2021 年度）の選考を目指して磯崎理事のもと各賞選考規則を再検討する。
  - 7) 山口大会での各種会議の設定について：
    - ・ 支部長連絡会議 9/23（月）開催予定（平田副会長）・専門部会長連絡委員会は開催しないが、夜間小集会「大型研究」に部会長もしくは代理の方に出席してもらう。
  - 8) ジオパーク全国大会でのジオルジュ宣伝ブース出展について（坂口）  
ジオルジュの販売先営業のために、ジオパーク全国大会おおいた大会にブース出展が提案され、了承された。
  - 9) 山口大会プレスリリースについて（坂口）  
記者向け資料が提案され、提案文については小修正の上で了承された。特筆すべき学術講演について更に推薦してもらえよう検討する。
  - 10) そのほか  
地学教育の普及と底上げのために、SSH の活動に対して学会として積極的に支援すべき。各支部および小さな ES の集いと連携などできることがないか、支部および地学教育委員会に検討を依頼する。

## II 報告事項

### 1. 全体的報告

- 1) 学会 HP に会長名による『「千葉セクション」に関する声明』（8/15 付）を掲載した。
- 2) 地球惑星連合より 2020 年 JpGU-AGU 共同大会（5/24～28；於幕張メッセ）では、可能な限り英語でのセッションを提案して欲しい旨依頼があった。地質学会としても積極的に国際化を推進する。
- 3) 選挙開票立会人（2 名）として、金沢直人（中央開発）、尾張聡子（東京海洋大）会員に承諾頂いた。選挙告示は例年通りニュース誌 9 月号に掲載するための準備中。
- 4) 一家に一枚「日本列島 7 億年」（2018 年度採択）増刷について、文科省へ東北大学と連名で成果利用申請を提出し承認された。山口大会での配布ため A2, A3 版各 1,000 枚を増刷する。
- 5) 記念日協会より「地質の日」（5/10）の登録確認があり、登録を維持する旨（記念日登録確認書）を返信した。

### 2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）

< 共催・後援依頼，他団体の募集等 >

- 1) 山田科学振興財団より 2019 年度研究援助（2019/2/22 締切）の結果通知があった。地質学会からの推薦 2 件は不採択であった。
- 2) 山田科学振興財団 2020 年度海外研究留学助成（長期間派遣援助）の募集があった（10/31

締切). →ニュース誌, geo-flash 掲載予定.

- 3) 第 20 回こどものためのジオ・カーニバル (2019/11/2-3 於大阪市立科学館) より後援名義使用依頼があり承諾した.
- 4) 深田地質研究所より深田研一般公開 2019 (10/6) への協力依頼 (フォトコン写真の貸出) を承諾した.
- 5) 石油技術協会より令和元年度秋季講演会 (10/17, 於東大) への協賛依頼がありこれを承諾した.
- 6) 2020 年度笹川科学研究助成の公募 (申請期間: 2019/9/17-10/16). 学術研究部門 100 万円 (院生, 35 歳以下任期付き雇用者), 実践研究部門 50 万円 (学校, NPO 職員) →ニュース, geo-flash 掲載済

#### <会員>

##### 1. 今月の入会者 (5 名)

正会員 (3 名) 後藤 聡 佐野恭平 石澤 勝

正 (学部学生割引) 会員 (2 名) 佐々木荘春 柳沢真悠花

##### 2. 今月の退会者 なし

##### 3. 今月の逝去者 (1 名)

正会員 (1 名) 白石正一 (逝去日 2019 年 5 月 1 日)

##### 4. 2019 年 8 月末日会員数

賛助: 27 名 誉: 51 正会員: 3531 (正: 3353, 院割: 165, 学部割: 13), 合計: 3609 (昨年比 -76)

#### <会計>

なし

##### 3. 広報部会: 広報委員会 (坂口・小宮)

- ・ 山口大会プレスリリースについて: 特筆すべき講演 1 件をプレス予定. 【資料 04】  
特筆すべき学術講演について更に推薦してもらえよう検討する.

##### 4. 学術研究部会 (磯崎・ウォリス・岡田・辻森)

###### 1) 行事委員会 (岡田)

###### (1) 山口大会関係

- ・ 事前参加登録を予定より 3 日延長し, 8 月 22 日に締切った (登録者数約 645).
- ・ 巡検全 8 コースすべて催行予定.
- ・ 小さな ES のつどい (9/23): 11 校 13 件の発表予定. 昨年同様デジタル審査を行う. 当日の表彰は行わない.
- ・ ポスター会場は 2 部屋を設置. 一般公開セッション (9/23 実施) のうち R6, OR については情報展会場にポスターを掲示する.
- ・ 学会の宿泊斡旋は申し込み終了. 申し込みは少なかった.
- ・ 緊急展示募集中 (締切 9/5), 申込 1 件あり.

(2) JpGU2020 プログラム委員として、地質学会から 2 名（正：板木拓也，副：納谷友規）を選出した。

2) 国際交流委員会（ウォリス）

・韓国地質学会の招待につき濟州島に会長とウォリス理事が 10 月に渡航予定。

3) JIS, 標準担当（中澤）

・標準層序に関する解説「GSSP とは何か？」を学会 HP 上に掲載した。ニュース誌 9 月号にも掲載予定。

4) その他（辻森）

・地質系統・年代の日本語記述ガイドライン（国際年代層序表）が 2019 年 5 月に改訂され、日本語版を更新した（変更点；更新世中期の下限が、78.1 万年前→77.3 万年前）。

5. 編集出版部会（大藤・田村）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（8 月 10 日現在）

- ・ 2019 年投稿論文：48 編 [内訳] 論説 22（和文 20・英文 2），レター 1（英文），総説 5（和文），ノート 2（和文 2），報告 9（和文 8・英文 1），口絵 3（和文 3），巡検案内書 6  
査読中：32，受理済み：19（うち特集号 6）
- ・ 125 卷 8 月号：山口大会巡検案内書 4 編掲載。9/2 発送。
- ・ 125 卷 9 月号：通常号（論説 3，ノート 1，報告 1）計 67 頁（入稿中）
- ・ 125 卷 10 月号：特集：三次元地質モデル研究の新展開：その 2」（世話人：木村克己，高野 修，升本眞二・根本達也）＋通常原稿 3-4 編（予定）
- ・ 山口大会巡検案内書：未受理分が 8/31 付けで受理。投稿原稿は全て受理となった（他 6 編は掲載済み）。

2) アイランドアーク編集委員会（田村）【資料 03】

(1) 編集状況報告

(2) その他

- ・9/24 山口大会夜間小集会「日本地質学会に国際誌は必要か？」を開催予定。Island Arc の今後について過去の編集委員長経験者に意見聴取を行っている。
- ・次期編集委員長（2020 年 1 月～）の候補 2 名に内諾を頂いた。

3) 企画出版委員会（小宮）

なし

6. 社会貢献部会（星・廣木・中澤）

なし

7. 地質技術者教育委員会（佐々木）

- ・ 8月9日に第1回地質技術者教育委員会を開催した。山口大会で第2回委員会を開催して活性化を図る。
8. ジオパーク支援委員会（平田）
    - ・ 山口大会でランチョンを開催し，支援活動の活性化を図る。
  9. 地学オリンピック支援委員会（星）
    - ・ チャレンジ地球実施概要が確定した。各方面への広報を開始する。【資料 05】
      - [東京大会] 後援（予定）：日本地学教育学会，特別後援：NPO 地学オリンピック日本委員会
      - [大阪大会] 共催（予定）：兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科，後援（予定）：山陰海岸ジオパーク推進協議会，豊岡市，日本地学教育学会，特別後援：NPO 地学オリンピック日本委員会
    - ・ 参加者の費用負担軽減のため，バスの手配方法などについてさらに検討する。
  10. 地質災害委員会（斎藤）
    - なし

以上

2019年9月23日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長（代表理事）松田博貴  
署名人 執行理事 斎藤 眞